

報 告

## 第124回研修会・第37回総会に参加して

伊藤 友香

近畿病院図書室協議会に加入させていただいたのは、当病院に勤務することになってからですので、もう4年の月日が流れました。総会や研修会、勉強会などへの参加は、神奈川県からは少々遠く、スケジュールが合わずにいつも残念な思いをしていましたが、数年来の思いがかない、総会・研修会に参加させていただきました。

今回の研修会は事例・研究報告会でした。どの報告も大変興味深いものでしたが、畑さんと椎木さんが発表された「相互貸借（ILL）について～2病院の実際を通してみえること～」は、考えさせられる内容でした。以前勤務していた病院図書館では、一方的な文献依頼のみで、当方からの文献送付は行っておりませんでした。当病院に勤務するようになり、実際に申し込みを受ける側に立ってみると、繊細な作業が多々あることに気づかされました。同時に、一方的にお願いしていた立場から「相互」の関係になったことは嬉しいことでもありました。相互貸借は文献と一緒に司書の気持ちも送られてくるものだと私は思います。お互いが気持ちよく相互貸借の仕事ができるように、これからも心

がけていこうと改めて感じることができました。

研修会後の交流会にも参加いたしました。実は、本当の目的はこの交流会にあったといっても過言ではありません。病院図書館は基本的に一人職場です。普段は遠く離れている皆さまと直接お会いし話をする中で、悩みが解決したり新しい発見があったり、仕事のヒントをたくさん収穫できます。今回も元気いっぱいの皆さまからエネルギーを頂きフル充電することができました。中華料理も本当に美味しく、あっという間の3時間でした。

翌日、神戸の街を観光して帰路に就きました。3月11日の東日本大震災では当室も書架が倒れて資料が落下しました。その2週間後に阪神淡路大震災を経験し、たくましく復興した神戸を訪れるのも何かの縁だと思い、慰霊と復興のモニュメントや希望の灯、神戸港震災メモリアルパークにも足を運びました。うまく表現できないのですが、人は一人では生きていけない、たくさんの人に支えられて初めて自分が存在するんだ、と心から思いました。今回研修会に参加することができ、本当に良かったと思っています。充実した時間をありがとうございました。